



～あゆみ保育園（黒木町）～



議会だより

や め

No.141 平成25年8月1日

- P 2 **新議長・副議長を選出**
- P 3 **特別職・市職員給与減額の条例が可決**
- P 4 **議員報酬削減について議員より提案**
- P 9 **ここが聞きたい!** 一般質問 **15人**の議員が登壇

新

議長に川口誠二氏 副議長に三角真弓氏

6月20日井上賢治議長の辞職に伴い、急遽最終日に議長選挙が行われました。選挙の結果川口議員が新議長に選出されました。

また副議長には三角真弓議員が選出されました。

川口新議長は就任のあいさつで「30名の議員一緒になって八女市のために頑張っていきたい」と述べられました。

三角新副議長も「議員全員で団結して、いま八女市が置かれている様々な課題に全力で頑張っていきたい」と述べられました。

任期は平成27年5月9日まで。



就任あいさつ

合併後3年が経過をし、昨年の豪雨災害の復旧・復興元年ともいえる大事な時、副議長という大任を拝しました。

止むことのない少子高齢化も猛スピードで進んでいます。今ほど安定した施策が求められる時はありません。安心して子どもを産み、安心して老後を迎えられる地域の構築に女性の目線で頑張る決意です。



就任あいさつ

このたび、皆さま方のご推挙によりまして、議長の要職に就くことになりました。誠に身に余る光栄でございます。

浅学非才ではありますが、本市の発展と市民福祉の推進に、誠心誠意努力いたす覚悟です。なにとぞ、先輩諸兄と同様のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

6月定例会

平成25年6月定例会が6月3日から20日まで18日間の日程で開催されました。

市長から提案された議案は、3億8887万円を追加する一般会計補正予算、子ども・子育て会議に関する条例、特別職及び市職員の給与を減額する条例など12議案が提案され原案どおり可決しました。(賛否表P19)

最終日には、議員報酬を減額する条例改正案が議員より提出されましたが、賛成少数で否決されました。

一般質問には15人の議員が登壇し、市政全般にわたり質問しました。(P9～P17)

特別職・教育長・市職員の 給与を減額する条例が可決

特別職（市長・副市長）及び教育長は10%減額
職員は職務の級に応じて4.77%～9.77%減額

管理職手当は5%減額 期間は7月～来年の3月まで

提案理由

国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律に基づく国家公務員の給与減額支給措置を踏まえ、本市において、自主的かつ適切に対応するため、特別職並びに教育長、職員の給与の支給額を減額するために必要な改正をするものである。

議案第58号 特別職の給与等に関する条例及び八女市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 近隣市町村はどのような状況になっているのか。

答 ほとんど提案される予定になっている。

問 八女市の場合10%ということだが。

答 近隣市町村も10%が多いということは聞いている。

問 八女市の減額総額1億3740万円のうち特別職の分はいくらなのか。

答 特別職（市長・副市長2人）及び教育長を合計すると264万円になる。

議案第59号 八女市職員の給与の特例に関する条例の制定について

問 職員全体の減額はどのくらいになるのか。

答 特別職及び教育長を入れて1億3740万円になる。

問 一時金や時間外勤務手当にも影響があるのか。

答 組合との交渉や近隣の状況などを勘案し、対象外とした。減額対象は月例給と管理職手当になる。

賛成討論

○来年度から引き続きもう少し幅の大きい削減議案を出されることを期待する。

反対討論

○地方公務員も減額することによって、地域経済に大きな影響が出てくるだろうという危惧を持っている。様々な面においてこの議案には到底納得できない。

議員発議による議員報酬・費用 弁償に関する条例改正(案) 賛成少数で否決

提案理由

職員の給与を削減する議案が可決されたが、市長並びに職員としても苦渋の決断であったと推察する。

二元代表制の中の一議員として、共に痛みを分かち合い、今後の災害復旧・復興が円滑に推進できるよう、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間、議長・副議長・議員の報酬について8%減額するものである。

賛成討論(要旨)

○国からの要請とはいえ、職員の給与削減議案が可決したので、やはり私たち議員も職員と一緒に報酬を削減するべきではないか。

○職員も三役も苦渋の決断をして減額ということになった。それを議会において了承した。

そこで、提案理由の中にある二元代表制である議員も痛みを分かち合う立場から、自ら減額すべきではないか。

反対討論(要旨)

○今回の提案は心情的には理解するところもある。特別職・職員の給与削減だけ認めて、議会は何もしないのかという考えもあると思う。まして八女市は昨年7月の豪雨災害を受け、市民感情としての意見もあるかと思う。

しかし、報酬の削減を提案するなら、昨年の災害後すぐに議員自ら、最低でも自分の任期中は減額する条例改正をすべきではなかったのか。

○八女市議会基本条例並びに八女市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例を基本に特別委員会を設置し、もっと議員で十分議論を深めたうえで改正を行うべきではないか。

議員発議とは

議案を議会に提出する権限は原則として市長・議員の両方に与えられています。

議員が議案を提出することを「議員発議」といいます。

委員会審査

総務文教

審査の主なもの

- 平成25年度一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
 - 企画費 250万円(コミュニティ助成事業助成金)
 - 非常備消防費 100万円(コミュニティ助成事業助成金)
 - 財政調整基金繰入金 2億6,353万円
- 教育予算の拡充を求める意見書採択のための請願 (全員賛成で採択)

建設経済

審査の主なもの

- 平成25年度一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
 - 労働福祉費 3,060万円(起業支援型地域雇用創造事業業務委託料)
 - 商工振興費 2,400万円(プレミアム付商品券助成金)
 - 農林災害復旧費 422万1千円(農業災害復旧情報管理システム構築業務委託料)

地域活性化に助成事業

コミュニティ助成事業 助成金について

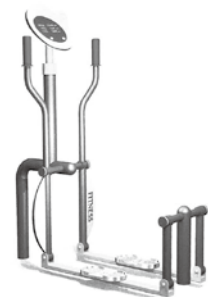
歳出において、企画費のコミュニティ助成事業助成金250万円は、立花町の白木地区振興会議に対する助成金であり、大人でも使える健康遊具4台とその遊具の説明看板、ベンチ2台を白木コミュニティセンターに設置するものである。

また、非常備消防費のコミュニティ助成事業助成金

100万円は、八女市立花消防団に対する地域防災組織育成補助金であり、腕用ポンプ操法の際のズボン・腹掛け27人分。また、ラッパ隊が使用するラッパ21個分である。

健康遊具とはどのようなものか、今後増える可能性は。

答 野外に設置するもので、大人でもゆくり使えるような健康遊具である。今後は普及していくと思われる。



白木コミュニティセンターに設置予定の健康遊具(イメージ図)

今年度もプレミアム付商品券を発行



プレミアム付商品券

労働福祉費
緊急雇用対策事業における起業支援型地域雇用創造事業

問 どういう事業所を対象としているのか。
答 福岡県内に本社がある八女市内の事業所で、設立10年以内の会社を対象とする。

商工振興費

八女商工会議所2億円、八女市商工会が1億6千万円のプレミアム付商品券を発行し、そのプレミアム分の10%にあたる3600万円のうち2400万円を市が助成する。

農林災害復旧費

昨年7月の豪雨災害により被災した農地や農業用施設の災害実態を詳細に把握するため、被災箇所及び復旧情報などのデータを図り、効率的に災害復旧のシステムを構築するため。

委員会審査

厚生

審査の主なもの

- 平成25年度八女市一般会計補正予算
保育所費 3千万円(子育て支援総合施設(仮称)建設工事費追加) (全員賛成で可決)
- 平成25年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算
一般会計繰入金 2億6,353万円 (全員賛成で可決)
- 八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について (全員賛成で可決)
- 八女市子ども・子育て会議条例の制定について (全員賛成で可決)
- 「より豊かな保育・教育制度の拡充と子育て支援制度を求める意見書」提出を求める請願 (全員反対で不採択)

高騰する医療費は特定健診で抑制

問 八女市国民健康保険税の一部改正とは。

答 平成20年、後期高齢者医療制度が発足した時、後期高齢者被保険者と国民健康保険被保険者の同居世帯を特定世帯と位置づけ、国保税の医療分と後期高齢者支援分に係る平等割の2分の1を5年間減額する制度が施行された。

しかし、今年終了する世帯について、激変緩和措置として、5年を経過する月の翌月から8年を経過する月までの間を特定継続世帯と位置づけ、4分の1の減額を行うものである。

問 八女市子ども・子育て会議条例とは。

答 認定こども園、幼稚園、保育所、小規模保育事業等の利用定員の設定や子ども・子育て支援事業計画の策定などを協議する会議を設置するもので、そ

の会議の委員は、大学教授、保護者、保育所・幼稚園の各代表及び従事者、子育て支援団体の委員、ファミリー・サポート・センター会員、主任児童委員などの中から14名以内で構成する。

また委員の選定は地域の実情が分かった方、教育関係者も選任してはこの意見には、考慮しよう。

問 国民健康保険の法定外繰入れについて。

答 医療費、高額医療費の増額、並びに昨年の豪雨災害による国保税減額措置等を勘案し、今年も一般会計より2億6353万円の法定外繰入れを行うことになった。

問 もし、法定外繰入れを行わないとすれば、国民健康保険税約19億4千万円、国民健康保険税は現在の10%以上の増額となるので

は。

答 高騰する医療費、国保税引き上げを抑制するには、とにかく特定健診を受診していただきたい。受診率は約30%と低く、特定健診を受診した人の方が、しなかつた人に比べ医療費が約半分で済んでいる。

また、特別調整交付金の増額、滞納対策の強化等、歳入確保にこれからも努力しよう。



皆さんからの
ご質問に対する

執行部からの回答

～第3回議会報告会～

平成24年
11月開催

第3回議会報告会の概
ていきます。

問 要は、今年2月及び5月の議会だよりに掲載しました。議会だよりに掲載しました。議会だよりに掲載しました。

答 今回は各会場で出された執行部に対する意見・要望などについて抜粋し、報告します。

問 職員の人事異動に伴い担当者が変わったので、わからないという返事が多い。事務引き継ぎはどうしているのか。

答 規定に基づき事務引き継ぎ書を作成し、口頭でも引き継ぎを行っている。

問 今後は、スムーズな対応に努めるよう周知徹底をする。

問 災害義援金を持って行ったが、窓口職員の対応が悪く、使途の説明もなかった。

答 せっかく温かい気持ちで義援金を持参していただいたにもかかわらず、不愉快な思いをさせてしまったことに対して心からお詫びいたします。今後このよつなことがないよう努

問 市役所周辺の駐車場の場所がわからない市民の方が多いと思われるが、その対策は。

答 常時、主催事業については駐車場マップを表記し、また案内窓口でもマップの配布を行っているが、周知徹底のため広報への掲載も行う。

問 保健師が全員本庁に異動となったため、今までできていたきめ細やかな相談ができなくなった。支所でも相談ができるようにしてもらいたい。

答 合併に伴い、保健師活動の統制、目的、健康づくりの方向性を同じにしていく必要があったため異動を行った。市民サービスの低下にならないよう、今後、集中管理に対する評価を行い、研究検討をしていく。

問 いきいき行政交付金とはどういうものか。

答 補助金交付要綱に基づき、行政区50世帯ごとの世帯規模に応じた段階的平等割、1世帯あたり

問 道路・河川の改修の要望書を提出しているが、一向に返事がこない。できない理由を返答してほしい。また、現在何件の要望が出され、着工が何件など詳しい状況を説明してもらいたい。

問 道路・河川の改修の要望書を提出しているが、一向に返事がこない。できない理由を返答してほしい。また、現在何件の要望が出され、着工が何件など詳しい状況を説明してもらいたい。

答 要望箇所に対応については、現在、随時受け付けており、過去の要望箇所の未実施を含め、緊急性や地域のバランスなどを考慮し、計画的に実施していく。



問 下水道の整備が進んでいるが、当初計画に比べ加入率が低いと思うが、その対策は。

答 下水道の加入率は、平成23年度末現在で64.9%となっており、平成18年度供用開始当初から徐々にではあるが、増加してきている。新たに供用開始となる区域の方に対しては、水洗便所改修助成金、融資斡旋制度などの周知をおこない、事業への理解と加入促進に努めていきたい。

平成24年度に開催しました議会報告会の内容を、2月1日号、5月1日号そして今回の8月1日号と、3回にわたってお知らせして参りました。八女市政の発展と議会改革を進めるために、今後も多くの皆さんの参加をお願いします。

地方の声を国政へ 未来を担う子どもたちのために

「教育予算の拡充を求める意見書採択のための請願」

請願者 高松 忠彦（八女市立花町山崎）

紹介議員 赤木 達男

採択

教育予算の拡充を求める意見書（抜粋）

35人以下学級について、小学校1年生、2年生と続いてきた35人以下学級の拡充が予算措置されていません。

日本は、OECD諸国に比べて、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっています。一人ひとりの子どもに丁寧な対応を行うためには、ひとクラスの学級規模を引き下げる必要があります。

社会状況等の変化により学校は、一人ひとりの子どもに対するきめ細かな対応が必要となっています。また、新しい学習指導要領が本格的に始まり、授業時数や指導内容が増加しています。障害のある子どもたちへの対応、いじめ、不登校等生徒指導の課題も深刻化しています。こうしたことの解決にむけて、計画的な定数改善が必要です。

子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。しかし、教育予算について、GDPに占める教育費の割合は、OECD加盟国（データのある31カ国）の中で日本は最下位となっています。また、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の負担割合は2分の1から3分の1に引き下げられ、自治体財政を圧迫するとともに、非正規雇用者の増大などにみられるように教育条件格差も生じています。

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要です。子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成・創出から雇用・就業の拡大につなげる必要があります。こうした観点から、政府の予算編成において下記事項の実現を要請します。

記

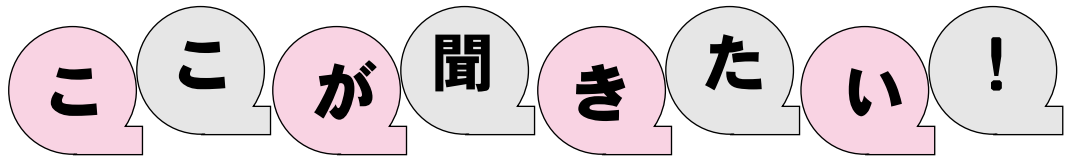
1 少人数学級を推進すること。具体的学級規模はOECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。

2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に還元すること。

平成25年6月20日

提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、
文部科学大臣、財務大臣、総務大臣

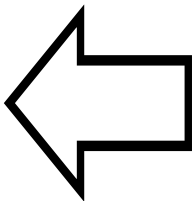




一般質問

月 日	質問者氏名	質問事項
6月10日 (月)	萩尾 洋	1 省エネに対する取り組みについて
		2 水質保全について
		3 新市庁舎建設について
	三角 真弓	1 医療費抑制の取り組みについて
	2 安心して老後を暮らせる地域づくりについて	
月足 靖彦	1 地域文化の振興対策について	
6月11日 (火)	服部 良一	1 人材育成支援事業について
		2 過疎対策について
		3 黒木豊岡地区の上水道及び水質検査の状況
	栗原 吉平	1 農業の振興について
	2 防災について	
井本 政弘	1 滞納対策について	
	2 林業振興について	
	小川 栄一	1 防災対策
2 各事業計画の進捗		
6月12日 (水)	朽網 英文	1 公共施設及び市有地の管理について
		2 災害時の緊急避難所について
	伊井 渡	1 職員の給与、手当について
	牛島 孝之	1 教育問題について
		2 人口減少について
3 国内クレジット制度について		
松崎 辰義	1 教育行政について	
6月13日 (木)	石橋 義博	1 経済対策及び雇用対策
		2 老人のための通院の制度及び対策
	樋口 安癸次	1 県道玉名八女線北山地区改良について
		2 県道玉名八女線の白木、和水町間のトンネル事業について
		3 県道柳瀬筑後線の改良について
4 エレベータ付き市営住宅の建設について		
森 茂生	1 八女市中小企業融資資金、八女市中小企業等協同組合融資金について	
	2 税金について	

《一般質問の詳しい内容》



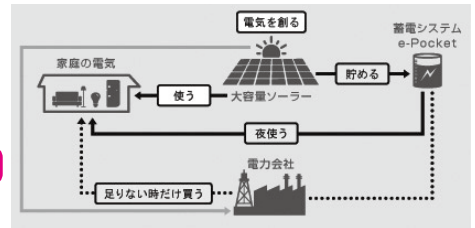
省エネに対する具体的な取り組みは、どのようになされているのか



萩尾 洋

答 住宅用太陽光発電補助金や庁舎の節電等を実施している

- 問** 福岡市が、省エネのノウハウがある業者を紹介し、企業が初期投資なしで水道光熱費を削減できるサポート事業に取り組んでいるが、そのようなシステム導入についてどう考えているか。
- 答** 良い取り組みであると思うので、早い時期に調査させて頂ければと考えている。
- 問** 水道水・簡易水道水の残留塩素が、水中の有機物質と化学反応を起こして、有害な物質を作り出し、多量に摂取すると健康被害を起こすといわれているが。
- 答** その有害物質を厳しく検査しており、現在のところ上水道・簡易水道とも、基準値内になっている。
- 問** 災害に備えて水の確保は最重要と思うが、学校のプール水を定期循環ろ過し飲用水に利用できるシステムがあるか。
- 答** 一つの方法で検討してみるのはあると思うが、飲料水の配送も考慮しなければと思う。
- 問** 新市庁舎建設について
- 答** 早急に検討委員会を設置し、30〜40代の次世代を担うメンバー起用を願う。



問 高齢化率30%を超えた長寿社会をどのように乗り切り、国民健康保険の健全な運営を図るのか。

答 医療費の適正化施策としてのレセプト点検業務、多受診者の訪問指導、シエネリック医薬品への啓発事業等の強化推進と1次予



三角 真弓

医療費抑制にどのような取り組みをするのか

答 予防、訪問指導、生活習慣病重症化対策、滞納対策等

- 問** 安心して老後を暮らせる地域づくりについて
- 問** 今や全国的にみて、高齢者の認知症462万人、予備軍400万人、4人に一人といわれている。本市もその比である。今後10年間のピークとなっていく。今から人生100年型社会へ移行するとも言われている。高齢者住宅、訪問介護・看護事業の施行、介護施設の整備等、大介護時代をどのように乗り越えようとしているのか。
- 答** 研究をしていく。
- 問** 広島県呉市は4年間で一人当たりの医療費を149千円削減している。本市としても追従しては。
- 答** 本市の特性、市民の利便性、満足度の向上を目指し地域と連携を図る。



月 足 靖 彦



南北朝時代の五條家宝物

南朝の歴史文化遺産活用による市の振興策についての考えは

答 積極的に活用し、地域の活性化につなげていく

問 南朝歴史にかかわりの深い自治体との交流も歴史活用による地域振興策として考えるが。

答 南北朝時代については、今後のまちづくりに生かすべき貴重な歴史的資源であり、先日、南朝方にゆかりの奈良県吉野町を訪

問しており、早速両市町の交流に向けた調整を開始したい。

問 社会教育、学校教育において、歴史文化遺産の活用体制の醸成をしていくべきと考えるが。

答 歴史文化交流館（仮称）を拠点と位置づけ、

小中学校の学習に生かすように努めていく。

問 少子、高齢化に伴い、地域の伝統文化、伝統行事、民俗芸能等の保存継承が極めて厳しくなっていく状況にあるが、市は住民との連携を図り、支援策を見出していく考えはないか。

答 指定文化財の保存、保護、継承等は継続的に支援をしていくが、指定以外の伝統行事、祭りについては、実態を把握し、関係者と市との情報共有に努め、集約した概要を取りまとめようことを視野に検討していく。

職員等の庁用車事故が多発している、安全運転対策と維持管理の現状は

答 各課へ交通安全・事故防止通達の周知徹底を図っている



橋 爪 房 義



八女市役所本庁玄関

問 平成23年～24年度に公務中の交通事故が計11件発生した・職員全体の意識が薄いのではないのか。

答 本年1月に交通法令遵守及び交通事故防止について各課へ通知し、職場全体で安全運転に対する注意を促した。平成23年度には全職員を対象に八女警察署交通課職員を招き、交通安全講習会を開催した。公用及び私用による職員の交通事故については、過失を有する者は職員の交通安全対策方針に基づき、安全運転講習及び市の交通安全啓発事業へ参加し、安全運転の再認識を促している。

問 燃料・車検・任意保険等契約の現状は。

答 ①燃料 本庁、上陽支所は八女石油西部組合加盟の7社、他の各支所は地域で給油する。②車検 本庁分は八女自動車整備協議会加盟業者の輪番制で選定、各支所分は整備工場を割り振っている。③任意保険 311台全てA共済と契約。

災害復旧事業の完工予定

問 現状と今後の進捗は

答 1136の査定箇所内、全体の25%284ヶ所を発注で25年度末までに全体の80%を目指す。

八女市成長戦略として、人材育成事業を開設すべきではないのか

答 八女市が衰退しないように検討する



服部良一



担い手不足に悩む中山間地域

問 成長戦略として、農

林業、商工業、担い手育成、自然維持、歴史文化の継承、商品開発などを行う。人材育成事業を開設すべきでは。

答 そこに住む人の心まで過疎になってはいけない。現在の支援を新しく組み立てるのか今後検討していく。

問 市職員の育成教育は

職員みずから勉強されているか。また不正がないように教育されているのか。

答 職員みずから取り組んでいる。また全職員に倫理研修を行っている。

問 八女市独自の過疎対

策大構想施策を打たねばならないのでは。また空き家バンクの拡大を進めるべきでは。

答 他市にない施策を講じ計画的に環境作りをやる。また空き家バンク登録に向け努力する。

問 黒木豊岡地区の上水道の

早期実現を

答 6月ごろ水資源機構から説明があり、その後計画が示される。



栗原吉平



早期復旧を望む

特産八女茶の現状と災害による(離農過疎化)今後の対策は

答 茶と園芸品目の複合化や新規作物導入、六次産業化や法人化の推進を図る

問 防災の観点から農地対策は。

答 緑茶の消費が伸び悩む中で単価の低迷は生産者にとって大変厳しいが八女茶は全国一の平均単価を出している。地域ブランド農産物の柱であり関係機関と連携しながら品質向上、宣伝対策の取組強化していきたい。豪雨では市内60ヘクタールの茶園が被災したが徐々に復旧が進み災害の影響は最小限にとどめることができた。被災が甚大な中山間地域においては離農による過疎化や耕作放棄地の増加を防ぐため災害復旧と経営の確立支援策を一体的に取り組む必要があり、経営環境や農地復旧の進捗に応じて茶と園芸品目の複合化や新規作物導入、六次産業化や法人化の推進など、地域で安定的な農業経営が出来るよう対策を講じていきたい。

答 今回の豪雨で農地や農業用施設が甚大な被害を受けており、想定外の雨量であったが、これを教訓として災害に強い地域づくりに取り組み、施設の整備のあり方や維持管理方法等について検討し今後の災害に備え対策に取り組んでいきたい。



井本 政弘



集積された八女材

税金の滞納が大きな問題である、収納率を上げる為の対策は

答 徹底した納税相談を進め、納税者の自主納付を目指す

問 八女市の税金の滞納額は累積で10億円を超えているが、毎年収納率が上がっていないようだ。抜本的対策の一つとしてファイナンシャル・プランナー（貯蓄や保険、年金、不動産、税金、相続など）を総合的にプランニングし、アドバイスをする専門家は、委託し、滞納者

の生活改善を図る事に よって、継続的な納税が可能になった事例がある。導入してはどうか。

答 収納率向上に向けては、納税課職員が家庭生活も伺いながら、日常的に納付相談に対応するなど、あらゆる手段をとっているが、ファイナンシャル・プランナーについても研究してみたい。

問 林業振興（八女材の需要拡大を図るには）

新築住宅に30万円の補助制度があるが、より一層の需要拡大を図る為には、八女市に限定せず、八女材のPRの為にエリアを広げるべきではないか。

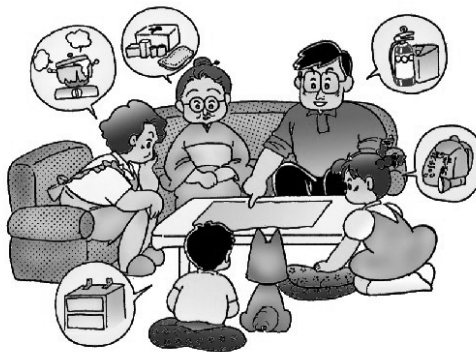
答 林業は八女市の重要な産業であり、課題解決の為に「八女市林業振興対策協議会」を発足した。制度見直し等を図りながら、木材産業の再生に向け、取り組みを進める。

昨年7月14日以後、1年間の防災対策の進捗状況の説明を

答 9月1日に災害復旧本部を設置し対応を進めてきた



小川 栄一



防災家族会議

問 具体的な対策は。

答 河川をリアルタイムで監視できるカメラ6基水位計4基を県にて進めても

らっている。防災ラジオを自動起動するシステムをとおして、Jアラートを放送する。緊急情報をエリアメールで配信する。非常食等を確保できる協定をあらたに10件結んだ。

問 ハード面は進んでいるようだが、大事なものは情報そのものだ。具体的にどこへ逃げればいいのかを、市民は知っているのか。

答 ハザードマップを全世帯に配布している。

問 ハザードマップは平成23年版だ。見直しは必要だ。本年度県も見直すので一緒に作りかえろ。

問 自助・共助・公助の理念はよくわかるが、公助はどこまで手を伸ばすのか。

答 どこに逃げるかはみずから考えてほしい。行政が出来る問題ではない。地域で区長を始め未来づくり協議会もある。自主防災組織もある。その中で議論して伝達の方法も検討して、そこまで行政で

公共施設及び市有地の管理一覧表はできているのか



朽網 英文

答 公共施設の見直し検討委員会で計画の策定をしたい



豊岡小学校●1978(昭和53)年閉校

問 公共施設見直し実施計画のスケジュールについて

答 平成22年度に公共施設のあり方検討委員会を設置し、平成24年度には公有財産活用検討委員会に変更し、本年度中に公共施設見直し実施計画を策定する。

問 過疎地域自立促進計画に関連づける施策は。

答 学校施設の廃校後の施設の利用、活用につれ進んでいる。地域間交流の促進による地域活性化策として廃校施設の宿泊施設としての活用方針を上げていく。

問 災害時の緊急避難所について

答 自助できることは、常に考えていただきたながら、有事に備えていただくこと。次に共助としてできる自主防災組織の確立と身近で安全な避難所に協力して避難して頂く活動に取り組んでいる。

安全で安心して暮らせる場所づくりであるが、避難勧告などを発令する場合、市の指定する避難所について開設する。今回の災害経験をもとに、自主避難所等の再点検をお願いしている。



伊井 渡



答 市長の発言は、あまりにも職員優遇、市民軽視、官尊民卑と思うが

市民の皆様の声を無視して、施策を講じたことはない

い、現状では国の財政破綻はあり得ないと思う。

また、円安で輸出企業が潤い税収増となり、輸入によるデメリットはあるが、国全体としては喜ぶべき事と考えている。

問 国家公務員給与が7・8%削減された時、市職員給与も削減すべきだったのでは。

答 国が市職員給与に言及する事は、地方分権の流れに反する。

問 国の借金は1000兆円を超え、自主財源が

25%程しかない八女市は、国の財政事情、政策に大きく影響されるが、国の財政破綻、及び金融緩和による円安についてどう思っておられるか。

答 借金のほとんどが国内からで、外国からの調達が多いギリシャ等とは違

元人事院総裁が人事院勧告無視は、憲法違反と言われたが、実は憲法にはそんな文言は一言も無く、人事院勧告は国会が公務員給与を決定する際の判断材料にすぎない。それで、市民の皆様が不利益を被る場合には、人権を尊重、尊守する必要はなく、それどころか無視すべきと思うが。

答 そつは思わない。



牛島 孝之

小中学校の空調設備の温度設定についての考えは

答

校長会の方で、今後協議を続けさせて頂きたい

幼稚園・保育所の未就学児への補助について

問 就学前の園児全員に保育料を補助した場合の金額は。

答 総額として1億2千9百万円という数字になる。

問 子育ての為に全額補助するという考えは。

答 子育てについては、全国の先進市を参考にしながら進めていきたい。

国内クレジット制度について

問 国内クレジットとして、現在八女市ではべんがら村とグリーンピア八女があるが、ほかに該当する施設はあるのか。

答 今後の予定はあるが、今現時点ではな。

問 再生可能エネルギーにつき、八女市における小水力発電についての考えは。

答 小水力発電については、本市においても、今具体的な設置場所を県と協議しながら、モデル事業で検討の段階にある。



いじめ対策やこの課題解決をどのように考えているのか

答

生徒への調査、家庭や地域との連携、教師の研修



松崎 辰義

目標指標

第4次八女市総合計画より

目標指標	現状値	目標値
小学校 各種学力検査の正答率※1	平成21年 国語 全国平均より 1%程度上回る 算数 全国平均とほぼ同じ	平成27年 国語・算数 各5%程度上積み
中学校 各種学力検査の正答率※2	平成21年 国語・数学・英語 県平均より各2~2.5% 下回る	平成27年 国語・数学・英語 各5%程度上積み
小学校 不登校児童発生率 (%)	平成21年 0.27	平成27年 0.1%台
中学校 不登校生徒発生率 (%)	平成21年 3.34	平成27年 2%台
学校施設の耐震化率 (%)	平成22年 82.6	平成27年 100.0

※1=小学校の数値は、「CRT検査」によるもの。この検査では全国と市、各小学校（1年生～6年生）の正答率が分かる。
 ※2=中学校の数値は、「中学校新学期学力分析テスト」によるもの。この検査では県と市、各中学校（1年生～3年生）の正答率が分かる。

教育行政について

問 八女市の第4次総合計画や学校マニフェストには、学力向上指導・支援として、現状値、実績、最終目標値が書かれており、毎年1%上げ、最終目標値を5%上げるとあるが、これらは数値目標を掲げてすることなのか、数値目標を達成することが目的にならないのか。

答 学力検査等は学力の一部にすぎず、あくまでマニフェストとしての迷いはあるが、学力向上は子どもたちが、学力向上を望んでいるところもあるため、そのうちならぬように要請した。子どもたち・保護者・地域の願いでもあるし、また他市にはない人的配置や施設整備等に予算化をいただいて、それが学力向上につながることもあり、マニフェストと似つかわしくない部分もあるが、あえて上げている。

※他県でも、練習問題や模擬テストなど、学力調査の対策を行うなど、学力向上よりテストの成績を上げることが目的となっているところもある。

経済対策及び雇用対策について



石橋 義博

答 新産業開発や既存産業の育成に努め雇用促進に努力する

- 問** 毎年人口流出が止まらない。経済と雇用とに密接な関係にあると思うが対策はなされているのか。
- 答** 緊急雇用事業「起業支援型地域雇用創造事業」等活用して対応をしている。現在も企業誘致など努力しており農工商においても各課において出来る努力をし、今後も課題に関しては努力して参りたい。
- 問** 高齢者の通院の為に制度と対策について色々な制度や対策は設けてあるが市民に真に必要な求めているのか。
- 答** 予約型乗合タクシー等の普及啓発を積極的に進め、それをどう利用して頂くか、皆さんに説明していくかを課題として取組んでいきたいと思う。



- 問** 県道玉名八女線の白木く和水町間のトンネル事業の看板設置はどうなっているのか。
- 答** 市長が会長になるので、看板については、積極的に同意をうかがっている。



県道玉名八女線北山地区鞍懸未改修箇所



樋口 安癸次

答 測量は終わっており用地買収が行われている

県道玉名八女線北山地区の650mの現道拡幅はどうなっているのか

- 問** 県道柳瀬筑後線の改良についてどうなっているのか。
- 答** 新庄五差路の要望書は県にもお願いしている。今後も要望活動を続けていく。
- 問** 雇用促進住宅八女宿舎が1億5千万で競売にかかっているが。
- 答** 雇用促進住宅は事務レベルで現在対応している。今年度中に再評価を行い入札等を行ってみたい。



森 茂 生

中小企業融資資金が1割も利用されていないが

答

国の資金のほうが「使い勝手がいいから」

中小企業融資資金について

問 この資金は、八女市が金融機関にお金を預託し、金融機関が自己資金を上乗せして、中小企業に融資する制度で、年2億2750万円預託している。最高いくらまで貸出可能か。

答

預託額の4倍まで。

問

9億1千万円まで貸出し可能だが、実績は5千万円程度で、1割も利用されていない。総額で2億5千万円も預託され、そのお金が生かされないまま金融機関に眠っている。それが毎年繰り返し

れている。

なぜ利用率が悪いのか。

答 国の資金が使い勝手がいいから。

問 八女市の制度は使い勝手が悪いから利用しない。運営委員会そのものが機能していない。あれだけ専門家がいてほとんど発言なし。制度の練り直しが必要では。

答 改善すべきは改善する。

税金について

問 納税課の窓口において対応に問題はなかったか。

答 事実確認を行い対応したい。



全国市議会議長会表彰

第89回全国市議会議長会定期総会（平成25年5月22日）で、市議会議員として長年にわたり市政の発展に寄与された功績により、表彰を受けられました。



川口 誠二議員
(議員15年以上)



朽網 英文議員
(議員10年以上)



森 茂生議員
(議員10年以上)



中島 富定議員
(議員10年以上)



井本 政弘議員
(議員10年以上)



三角 真弓議員
(議員10年以上)

5月臨時会・6月定例会で審議した議案の結果

5月臨時会

報告第 4号	専決処分について（交通事故による損害賠償）	報告
議案第50号	専決処分について（平成24年度八女市一般会計補正予算（第10号））	承認
議案第51号	平成25年度八女市住宅新築資金等貸付事業費特別会計補正予算（第1号）	可決

6月定例会

報告第 5号	八女市土地開発公社の平成24年度決算及び平成25年度事業計画の報告について	報告
報告第 6号	平成24年度八女市一般会計予算継続費繰越計算書の報告について	報告
報告第 7号	平成24年度八女市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	報告
報告第 8号	平成24年度八女市簡易水道事業費特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	報告
議案第52号	八女市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第53号	八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第54号	八女市子ども・子育て会議条例の制定について	可決
議案第55号	市道路線の認定について	可決
議案第56号	平成25年度八女市一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第57号	平成25年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第58号	特別職の給与等に関する条例及び八女市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第59号	八女市職員の給与の特例に関する条例の制定について	可決
議案第60号	工事請負契約の締結について	可決
議案第61号	工事請負契約の締結について	可決
議案第62号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	《佐藤由香》 同意
議案第63号	財産区管理委員の選任について	《大淵健治・水本敏明》 同意
請願第 2号	教育予算の拡充を求める意見書採択のための請願	採択
請願第 3号	「より豊かな保育・教育制度の拡充と子育て支援制度を求める意見書」提出を求める請願	不採択
意見書案第2号	教育予算の拡充を求める意見書	可決
議員提案第1号	八女市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	否決
人権擁護委員候補者の推薦について	《川口恵・大石尚美・平島豊彦》	適任と認める
承認	議長の新任期	承認
選挙	議長の選挙	《川口誠二》 当選
選挙	副議長の選挙	《三角真弓》 当選
動議	アイマスクの類は議会の品位を損なうのでこれを認めないとする動議	可決

5月臨時会・6月定例会で審議した議案の賛否

5月臨時会	川口誠二	小川栄一	石橋義博	伊井孝之	牛島洋一	萩田恵一	角部良二	服部信一	中島信二	草場賢一郎	吉田達志	大坪久美子	橋爪房義	寺尾高良	栗原吉平	樋口良夫	松木道義	井上寿靖	月足真彦	三角政弘	井本富定	中島富文	川口奉茂	森茂英文	朽網徹雄	栗山達男	赤木辰義	松崎辰義	樋口安次	井上賢治	
報告第4号	報告事項のため採決はありません																														
議案第50号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲
議案第51号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	▲	

6月定例会	川口誠二	小川栄一	石橋義博	伊井孝之	牛島洋一	萩田恵一	角部良二	服部信一	中島信二	草場賢一郎	吉田達志	大坪久美子	橋爪房義	寺尾高良	栗原吉平	樋口良夫	松木道義	井上寿靖	月足真彦	三角政弘	井本富定	中島富文	川口奉茂	森茂英文	朽網徹雄	栗山達男	赤木辰義	松崎辰義	樋口安次	井上賢治	
報告第5号	報告事項のため採決はありません																							欠	▲						
報告第6号	報告事項のため採決はありません																							欠	▲						
報告第7号	報告事項のため採決はありません																							欠	▲						
報告第8号	報告事項のため採決はありません																							欠	▲						
議案第52号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
議案第53号	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	
議案第54号	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	
議案第55号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
議案第56号	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	
議案第57号	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	
議案第58号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
議案第59号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
議案第60号	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
議案第61号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
議案第62号	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	
議案第63号	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	
請願第2号	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	
請願第3号	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	退	
意見書案第2号	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	
議員提出議案第1号	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	
人権擁護委員候補者の推薦について	▲	人権擁護委員候補者と認める																													退
井上賢治議長辞職の件	▲	辞職を許可する																													-
議長選挙	▲	単記無記名投票により当選：川口誠二議員																													
副議長選挙	▲	指名推薦により当選：三角真弓議員																													

「アイマスクの類は議会の品位を損なうのでこれを認めない」とする動議 ○は賛成 ●は反対 ▲は議長席 欠は欠席 退は退席 -は除斥

動議とは
 会議の進行中に
 会議の品位を損
 なうのでこれを認
 めない」とする動
 議（賛成多数で可
 決）
 「アイマスクの類
 は議会の品位を損
 なうのでこれを認
 めない」とする動
 議
 動議
 議案と異なる議決
 されるものです。

インターネットで議会中継

八女市議会

検索

インターネットから議会の様子を生中継でご覧になれます。録画中継も生中継終了後3日程度(土・日及び祝祭日を除く)で見ることができます。インターネット中継は平成20年6月定例会から始めましたので、過去の分も見ることができます。会議名や議員名、用語でも検索できますので、ぜひご覧ください。

http://www.city.yame.fukuoka.jp/gikai/gikai_top.html



議会を傍聴してみませんか?

市政の動向を知るには、議会を傍聴するのが一番です。議員と市執行部とのやりとりを直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。事前予約は いりません。どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

日程など、詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 0943-23-4922

FAX 0943-23-4929

E-mail yame_city_gikai@city.yame.lg.jp

編集委員からのお知らせ

紙面の都合上、掲載できなかった一般質問や議案審議の詳しい内容を知りたい方は八女市議会ホームページまたは、市立図書館(分館含む)でご覧にならなければなりません。

次回定例会は 9月の予定です。

午前10時～立花庁舎議場

編集後記

一昨年、中東では「アラブの春」と呼ばれる若者たちの革命が起こり、次々と独裁政権が倒された。ニューヨークでは反格差運動が盛り上がり、その動きは世界中に及んだ。はたして日本では何か起こったのだろうか。正社員としてきちんと働ける仕事は、どんどん減っているのじゃないか。

今若者を見ていると素敵なファッションに身を包み、居酒屋で長話。時にはツイッターで呼びかけた仲間と家で楽しむ。日本ではお金をかけないで、そのうち楽しく暮らしていけるインフラが整っている。

そのようにしか今の若者の姿が目に見えなかった私である。しかし、昨年の水害の折、ボランティア活動に汗をかいた。まだまだ日本の若者には他者を思いやる心が溢れているのである。

その姿に心が洗い流されたい。大坪久美子



発行責任者

議長 川口 誠二

議会だより編集委員会

委員長 大坪久美子

副委員長 伊井 渡

委員 森 茂生

委員 寺尾 高良

委員 橋爪 房義

委員 草場賢一郎

委員 角田 恵一

委員 萩尾 洋

委員 牛島 孝之